



かさまつ応援寄附金（ふるさと納税）活用実績報告書



笠松町長 広江正明

心からの感謝を申し上げます

平成20年度から始まりました「ふるさと納税」制度により「笠松町を応援したい」という想いを多く寄せていただき、全国の皆様から多数のご寄附をいただきましたことに心からの感謝を申し上げます。

平成20年度から平成25年度の6年間に、

4,243件 総額38,080,272円

のご寄附をいただきました。本当にありがとうございます。

これまでにいただいた寄附金は「かさまつ応援基金」に積み立てておりましたが、町議会とも協議を重ねた結果、多くの皆様にご利用いただいている「**笠松町公共施設巡回町民バス**」の購入費として活用しましたので、ここにご報告させていただきます。

この「笠松町公共施設巡回町民バス」は平成5年に試行運行を始め、現在では町民のみならず、笠松町を訪れる皆様の貴重な交通手段として定着しております。

ここ笠松町は、かつて江戸時代から明治時代にかけて木曾川筋最大の重要な湊町として、また、岐阜と名古屋を結ぶ街道沿いの街として栄えた歴史を持ちます。交通の要衝であったことから、江戸時代には全国に4か所置かれた「郡代陣屋」のひとつがこの笠松に置かれ、交通の要衝とともに政治の中心地でもありました。明治になるとその「郡代陣屋」の建物は「笠松県庁」として使用され、その後「岐阜県庁」となりました。県庁はその後岐阜市に移りましたが、笠松町は“岐阜県政発祥の地”でもあります。

鉄道や道路網の整備などで、川を行き来する舟運の影はなくなりましたが、当時を思い起こさせる街並みが、今でも残る閑静な住宅街が広がっています。

住宅地が多く広がる笠松町の重要な交通手段である「笠松町公共施設巡回町民バス」を購入できましたことを、ここにご報告させていただくとともに、皆様の“もうひとつのふるさと”笠松町への変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

笠松町にお立ち寄りの際には「笠松町公共施設巡回町民バス」にご乗車いただけると幸いです。

平成26年11月

1. かさまつ応援寄附金（ふるさと納税）の状況

寄附件数・寄附金額の推移

年度	合計		うち県内の皆様		うち県外の皆様		基金利息 (円)
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
H20	20	605,000	17	515,000	3	90,000	—
H21	14	347,888	13	322,888	1	25,000	1,512
H22	85	1,673,001	15	303,000	70	1,370,001	668
H23	110	1,395,140	26	425,140	84	970,000	791
H24	464	5,000,998	62	1,029,443	402	3,971,555	1,002
H25	3,550	29,058,245	148	1,737,000	3,402	27,321,245	2,256
計	4,243	38,080,272	281	4,332,471	3,962	33,747,801	6,229

平成25年度末「かさまつ応援基金」現在高 38,086,501 円

図1：寄附件数の推移

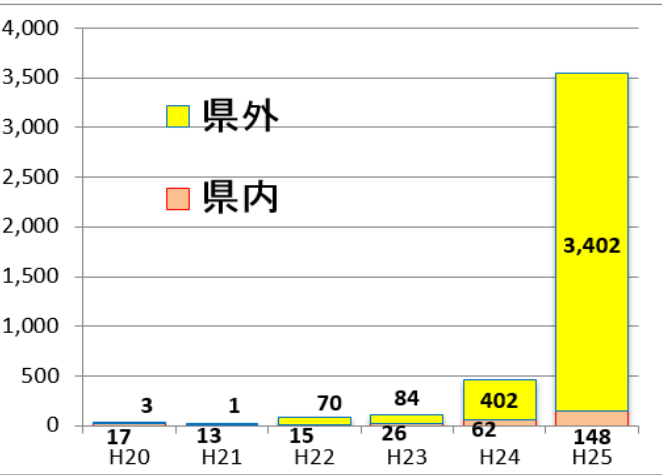
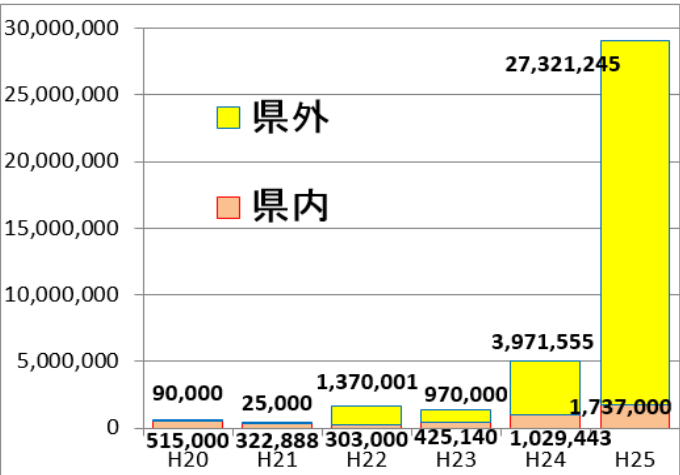
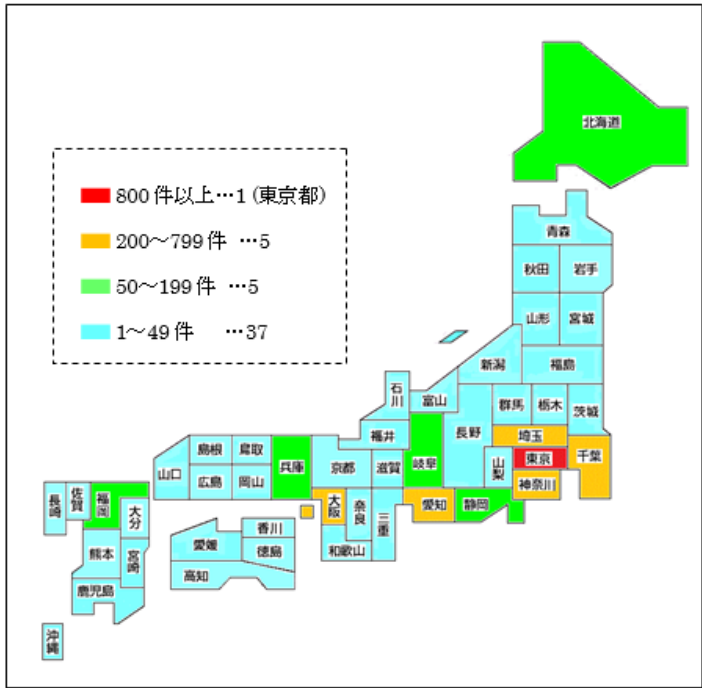


図2：寄附金額の推移



平成25年度 都道府県別 寄附状況



笠松町では、「ふるさと納税」制度が創設された平成20年度から全国の皆様にご支援をいただきました。

県外の皆様からのご支援が非常に多く、笠松町に対してご寄附いただいた件数は、岐阜県内の市町村の中で県内1位となり、県内の市町村が「ふるさと納税」に取り組む先駆けとなりました。

制度創設年から、地元事業者とパートナー事業を進め、ご寄附いただいた皆様に感謝の気持ちを込めて「ふるさとかさまつ宅配便」をお届けしております。平成25年度までの6年間の累計で、【6,122個】を全国の皆様にお届けすることができました。

2. 笠松町公共施設巡回町民バス の概要



- (1) 使用車両：日野ポンチョ 33人乗り（平成26年6月新車購入契約締結）
小型ノンステップバス

車体カラー

遠くから見ても目立つように赤色に統一しています。

車体側面の歩道側には、平成21年に制定した“笠松町の花 さくら”を描き、側面車道側及び前面・後面には、笠松町マスコットキャラクターの「かさまるくん」を1号車に、「かさまるちゃん」を2号車に描いています。



新型車両運行に先立って行われた「出発式」で
挨拶する広江笠松町長

(2) 購入財源：すべて「かさまつ応援寄附金(ふるさと納税)」を活用しました。

購入金額 2台で 3,450万円

車体側面・後面に皆様からのご寄附で購入したことを記載しています。

このバスは「かさまつ応援寄附金(ふるさと納税)」を活用して購入しました

(3) 巡回町民バスの状況

運行形態	自家用車の有償運送 (道路運送法第79条)
経路	下門間←役場→米野高瀬 <下門間行き、米野高瀬行きの2系統>
距離	約20km
ダイヤ	12便/日 (平日・土曜日)、 6便/日 (日曜日・祝日)
所要時間	50分
停留所数	38カ所 半径200m圏内の停留所設置により町全域を網羅
時刻	7:20～19:10 毎時20分発のヘッドダイヤ制
運休	年末年始 (12月29日～1月3日)
運賃	1人1乗車 100円 (小学校就学前は無料)
年間利用者	70,867人 <平成25年度>

(4) 巡回町民バスの歴史

昭和61年	中学校の統合により「通学バス」として運行を開始
平成5年	「公共施設巡回町民バス」として、1日4回の試行運行開始(無料運行)
平成7年	交互運行の開始
平成13年	利用者50万人を達成
平成15年	運行継続のため「運行協力募金箱」設置
平成17年	1乗車100円の有償運行を開始
平成24年	利用者150万人を達成
平成26年	「かさまつ応援寄附金(ふるさと納税)」を活用し、新型車両2台購入

(5) 巡回町民バス路線図



笠松町に、遊びに来てください。待ってます！！